



会報



登 山

DISTRICT 253
CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール
例会日 毎週火曜日 P.M 12:30—1:30
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内
電 話 0235 (2) 5775

会 長 鈴 木 弥 一 郎
幹 事 中 江 亮

Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第 910 号

1977. 6. 7 (火) (晴)

No.44

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング 君が代
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 感謝状、記念品贈呈 (鶴岡工業高校及び阿部清三先生)
5. 表彰状、記念品贈呈 (西海紙器店 佐藤菊雄氏)
6. 愛状者挨拶
7. 会員、奥様誕生祝
8. 年間皆出席会員表彰
9. 会長報告
10. 幹事報告
11. 台中港区R.C来訪収支決算報告
12. 第18回クラブ創立記念日特別スピーチ～安藤定助君
13. スマイル～西海正一君 (会社工場長佐藤菊雄君表彰に感謝して)
14. 出席報告

■ ゲスト・ビジター紹介

菅原鉄三郎君、本間留芳君、今野義介君、佐藤五右工門君、佐々木暢美君、三浦徳一君
一温海R・C
桜井瑞男君一鶴岡西R・C

■ 受状者挨拶

西海紙器店淀川段ボール工場工場長 佐藤菊雄氏

本日、鶴岡ロータリークラブ創立18周年記念日に当りまして皆様よりの深い御理解と御推選によりましてお招きをいただきまして喜んで出席させていただきました。この盛大な式典の中で名誉ある表彰を受けさせていただき身に余る光栄であります。御出席なされました鶴岡ロータリークラブの皆様様に厚く御礼申し上げます。

思えば入社以来20数年間西海紙器店社長を始め御家族御一同様の心暖まる深い御理解と御指導並びに御援助と社員一同の御協力があればこそ心から深く感謝申し上げます。

本日のこの名誉ある受賞の喜びを終生忘れることなく尚一層努力致す所存でございます。誠にありがとうございます。

甚だ簡単ではございますが御礼のことばとさせていただきます。

昭和52年6月7日

■ 会員奥様誕生祝

<会員誕生>

阿部襄君、張紹淵君、石黒慶之助君、上林一郎君、小野寺清君、高橋良士君、角田博君

<奥様誕生>

安藤美智子様、金沢弘子様、角田千鶴子様

■ 年間皆出席会員表彰

<年間皆出席>

14年間皆出席 早坂源四郎君
8年間皆出席 手塚林治君
6年間皆出席 佐藤順治君
6年間皆出席 市川輝雄君
1年間皆出席 横山昇君、丹下誠四郎君

<5月150%出席> 1名

小野寺君

<5月125%出席> 6名

阿部(襄)君、安藤君、黒谷君、高橋(耕)君、中江君、横山君

<5月100%出席> 53名

皆川君、張君、早坂(源)君、早坂(徳)君、半田君、飯白君、石井君、石黒君、五十嵐(三)君、石川君、板垣(俊)君、玉城君、上林君、風間君、小池君、小松君、嶺岸君、三井(賢)君、三井(徹)君、三井(健)君、森田君、角田君、中野(重)君、中野(清)君、西海君、斎藤(得)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、鷺田君、笹原君、新穂君、内山君、菅君、鈴木(善)君、鈴木(弥)君、高橋(正)君、高橋(良)君、丹下君、迎田君、谷口君、手塚、富樫君、上野君、菅原君、山口君、中村君、藪田君、吉野君、金沢君、市川君

■ 会長報告

- ① R・Iより本日当クラブのロータリー財団2,400%達成の証書が参りました。会員の皆さんの御協力誠に有り難とう御座いました。厚く御礼申し上げます。
- ② 来る14日の日には年度最後のクラブ協議会を新、旧委員長合同で開催致したいと思えます。例会終了後午後2時よりマイクロバスにて酒田市の中国飯店にて開催致します。委員長さん欠席の場合は必ず代りの方を出席させて戴きます。又各委員会の行事遂行がありましたら今月中に実行して下さい。

- ③ 6月9日は当鶴岡ロータリークラブの第18回の創立記念日で御座います。従いまして本日の例会に於てその記念プログラムを実施致します。

当クラブの初代会長で御座いました小花盛雄先生が昨年の9月に逝去されました事はかえすがえすも残念な事でありまして御遺徳を偲び更めて御冥福を御祈り致します。本日は初代幹事を務められクラブのチャーターメンバーであります安藤さんに記念スピーチを御願ひ致して居ります。

次に記念行事の一環と致しまして本年は御承知の通り R・I 会長のメッセージに示された如く、職業奉仕を大きい目標として参りましたので、クラブとしては初めてと思えますが優良従業員の表彰を行います。

表彰者は当クラブ西海会員の従業員でありまして身体障害の方で佐藤菊雄さんでありましたが、身体の不自由を克服して稀に見る模範的な方であり、一方社会福祉の活動面から見ましても立派な人材であると思えます。勿論御主人であられる西海君の御熱意と御指導には深甚の敬意を表するものであります。

次に当クラブに於て長年に亘り歴代交換学生の母校としてその受入に就きまして率先して御協力を戴き勉学、育成、指導に並々ならぬ御尽力を戴いて居ります鶴岡工業高校さん並びに交換学生の指導教官として多年に亘り慈父の如き御指導を賜りました阿部清三先生の御功績は、国際奉仕活動の一環として誠に大きく感謝に堪えない次第で御座います。

尚、当クラブの菅原辰吉先生の絶大なる御尽力、御教導に就きましてはこれ又万腔の敬意と感謝を捧げる次第で御座います。

本日の記念日に当り会員の皆さんと共に後程感謝状、並びに表彰状を御送り致したいと思えます。

■ 幹事報告

- 例会変更 山形北 R・C ~ 6月30日の例会は

新、旧役員の入会送迎のため P・M5:30 亀松閣

山形 R・C ~ 6月15日 P・M12:30 山形女子短大

酒田東 R・C ~ 6月9日の例会は 8% 映写会のため P・M6:00 妙法寺

立川 R・C ~ 6月15日の例会は 職場訪問のため 狩川上幡 見龍寺

酒田 R・C ~ 6月29日の例会は

交換学生送別会と懇親会のため P・M2:00 湯田川 甚内旅館

- 会報到着 ~ 東京 R・C、遊佐 R・C

- ローターアクトクラブ結成案内 ~ 福島県梁川 R・C スポンサー 梁川 R・A・C

- オーストラリア派遣交換学生小池志保さんの近況報告

- 台中港区 R・C 紀会長からの礼状披露

- 6月14日のクラブ協議会の出席案内 活動報告書提出 6月10日迄

- R・I 会長ターゲット披露 (77~78年度)

SERVE TO UNITE MANKIND

全人類を結びつけるため奉仕せよ

■台中港区R・C来訪収支決算報告

歓迎実行委員長 上野三郎君

収入の部

| | | |
|-------|----------|----------------|
| 会費 | 136,000円 | @4,000×34名 |
| 〃 | 70,000円 | @7,000×10組 |
| 〃 | 28,000円 | @4,000×7名 ビジター |
| 〃 | 85,000円 | お祝 招待者19名 |
| 会員負担金 | 71,000円 | @1,000×71名 |
| クラブ助成 | 45,500円 | 会場費 @650×70名 |
| 〃 | 142,300円 | クラブ助成 |
| 合計 | 577,800円 | |

支出の部

| | | |
|----|----------|----------------------|
| | 6,000円 | 看板代 (歓迎会場) |
| | 335,750円 | エルサン 料理代 |
| | 45,000円 | 物産館 お土産代 @1,000×45 |
| | 4,000円 | 贈呈用花束 @2,000×2 |
| | 7,500円 | 早坂食品 (イチゴ) |
| | 52,950円 | 羽黒関係 (昼食代、他) |
| | 2,000円 | ラッセル @1,000×2 |
| | | (花束贈呈の2人のお子さんへ菓子) |
| | 36,000円 | 中国飯店 (追加料理代) |
| | 53,600円 | 笹原商店 (のみもの代) |
| | 30,000円 | 富士印刷 (プログラム印刷代) |
| | 2,400円 | 白布 @80×30枚 (クリーニング代) |
| | 5,600円 | 物産館 (お土産の追加) |
| 合計 | 577,800円 | |

■第18回鶴岡R・C創立記念日創立を想う

初代幹事 安藤定助君

1. 鶴岡R・Cの創立

山形県に初めてR・Cの出来たのは昭和25年、山形R・Cであります。その7年後の昭和32年に至って、当時山形R・Cの会長であった安斎徹君 (山大教授、地質学者、蔵王の名付親) が県内のR・C拡大に情熱を注がれたのを契機として、昭和32年～35年間に米沢、上山、山形西、天童、村山と続々、5R・Cが創立され、県内第7番目のR・Cとして山形R・C並びに山形西R・C共同スポンサーのもとに、安斎徹君を特別代表とし、東北、北海道を一地区とする第350区伊部政次郎ガバナー (札幌) 統轄のもとに昭和34年6月9日 (1959年) 「ひさごや」に於て創立総会を挙げ創立に至ったのであります。

御承知の様にロータリー年度は7月1日に始まり6月30日に終るために、何とか年度内に国際加盟の承認を取り付けたいとの安斎特別代表並びに伊部ガバナーの非常な御努力で全く例のない創立総会後僅か18日目の6月27日にシカゴのR・I本部より国際ロータリー加盟を承認され、立派に国際ロータリーの一員となったのであります。

創立総会に於ける創立会員即ちチャーターメンバーは次の21名でした。

阿部公一君、安藤定助君、長谷川文清君、広瀬健吉君、池内方平君、海東与蔵君、小花盛雄君、今野六郎君、丸谷茂雄君、金井国之助君、大野武雄君、佐藤貞吾君、斎藤栄作君、荘司繁太郎君、田中正臣君、津田晋介君、板垣清治君、広瀬謙次君、河村秀一郎君、諏訪信一君、手塚林蔵君

又当時の役員は次の通りでした。

会長 小花盛雄君 副会長 今野六郎君 幹事 安藤定助君
クラブ奉仕 広瀬健吉君 社会奉仕 丸谷茂雄君 職業奉仕 荘司繁太郎君
国際奉仕 阿部公一君 S・A・A 池内方平君 会計 田中正臣君

なお、当時のR・Iの現況は次の通りでした。

加盟国 114ヶ国 加盟R・C 10,296 会員 481,000名

2. 鶴岡R・C誕生の難産と生みの親、育ての親

山形R・Cは創立7年後の昭和32年頃から県内にR・Cを拡大すべく、内陸各都市と共に酒田、鶴岡両市にも地元有力者と親交のある会員が打揃って何回か推称を重ねたが仲々市内は難攻不落の地であった様です。そこで特別代表の安齋徹君は実業界の有力者を対照としては無理と判断され、ロータリーは行動しなければならないし、取敢ず若い層で発足し後は行動によって理解を求め乍ら拡大だと、拡大方針を立てられ教え子を対照に拡大を計られ次々に成功され、第7番目のR・Cとして鶴岡の教え子、小花盛雄君を捉えられて説得され、次に地域に明るく、若い当時の商工会議所副会頭の広瀬健吉君を入れられ、又小生がその前年に山形商工会議所の前田専務の机の上にあったロータリーの文献に興味をもち、いろいろ話を聞き、之をもらい受け、当商工会議所の事務局長田中正臣君と「こんなものを鶴岡にも何とか作りたいものだが研究しよう」と話し合っていたこともあったことからこの兩人も引入れられ、之に力を得られた安齋徹君の情熱は燃え盛り、一方こちらは内容が判れば判る程「大変なものに手を出した」と引込みかけたが、安齋徹君の情熱にほだされ、遂に力を合せて満身創痍を覚悟で活動することを期し合い、現在のヤマリン本店の場所にあった旧商工会議所の一角や小花君の御宅で会員拡大や創立準備が始まりました。

扱て、会員も17～18名決定し、もうひと息となり、そろそろクラブの編成となったが、そこで又一頓挫することになった。それは、誰を会長、役員にするかであった。当時の地域の特性として、今は亡き佐藤政吉氏を始め「一流の人」と云うのがあって、ロータリーの建前から、その人達がメンバーに入らなければ形が整わないし、又今後の発展にも協力が得られないと云うことで大変な苦勞をしましたが、之も最後は安齋徹君の勇断で上記の編成となったわけです。この間には枚挙に暇のない苦心談や失敗談が数多く残されています。

考えて見れば、現在こそ40代と云えばそうそうたる年代ですが18年前の当時会長48才、幹事43才の40代では、地域の先輩即ち「一流の人」から見れば若僧の「たわごと」に見えたかも知れません。

斯くして何とか6月9日の創立総会にこぎつけ、その後は6月16日の第1回例会から無我夢中の活動に入ったわけですが、ここに特筆して忘れ得ないことは、毎例会及びその他の会合にも殆ど欠かすことなく、当時としては今より不便な山形から風雨、酷寒、炎暑を厭わず安齋特別代表が毎回出席され例会は勿論、その前後に筆舌につくし難い懇切、徹底したロータリーの理想から運営のすべてに乳飲児を育てる様に文字通り親身に優る御指導を賜ったことであります。

先般の平松ガバナーの公式訪問の際「このR・Cは18年と云うクラブ経歴で、大分年輩者も多いR・Cだが、それに反して若々しい広範な活動をし、顔ぶれも若い」と誉められました。それと云うのも「三つ子の魂百までも」と云われる様に、当R・Cの現在あるのは正に創立当時の生みの親、育ての親の安齋特別代表の御恩によるものと18回の創立記念日にあたり会員皆様と共に、改めて感謝の意を表し、御冥福をお祈り申し上げたいと思います。

3. ロータリー活動の思い出

- (1) 例会
第1回例会 6月16日

出席会員 21名中 19名 90.4%

R・Cの間では名前を「君」づけで呼び合うこと。

欠席は前日10時までS・A・Aに申し出ること。

第2回例会 6月23日

スピーチ 「クラブ活動あれこれ」 安齋特別代表

第3回例会 6月30日

スピーチ 「ロータリー創立のよろこび」 松木市長

スポンサー 山形R・Cより点鐘贈られる。

回を重ねて第6回には

第6回例会 7月21日

スポンサー山形西R・Cよりロータリー旗贈られる。

斯くして会員を増強し乍ら活動も次第に活発となり自信をつけて参りました。

(2) 会員拡大

7月7日 金井勝助君、酒井忠明君入会

7月14日 松木市長、今間壯太郎君、大竹博君入会

11月24日 飯白祐信君、鷲田克己君入会

12月1日 佐藤寅之助君入会

12月24日 鈴木善作君入会

1月19日 早坂源四郎君、佐藤仁太郎君、佐藤昇君、五十嵐三郎君、小池繁治君、菅原主純君、谷口晴敏君、三浦岩治郎君入会

この間諏訪信一君、酒井忠明君の退会あって17名の拡大、2名の退会で21名の創立会員が年度末には36名の会員となった。

(3) 会報

創立当初から会報はクラブの歴史であると共に、ロータリーを知り、親睦を深める唯一の機関紙であることを安齋特別代表に懇々とさとされ、創立当時から現在の様な充実した会報をタイプのガリ版刷で発行しました。その印刷に当たられた須貝印刷さんには献身的な協力をいただき、今の富士印刷さんと共に深く敬意と感謝の意を表します。

(4) 親睦

第1回家族会は10月6日、例会を見ていただき乍ら家族にロータリーの理解と親睦を深めました。

第2回は12月24日 クリスマス家族会 当時としては相当冒険的な批判の出そうな催しであったが、ロータリー色を出すためにあえてこの催しを会員、家族の義務出席で行ったが結果は案ずるより易く、却ってその後の親睦を深めるのに大いに効を奏した。

第3回は2月23日、国際ロータリー創立記念日に家族にも国際ロータリーの創始者ポールハリスの偉業やロータリーの理想について理解を深めると共に社会奉仕の行事を通じその理解も深めました。

以下家族会の回を重ねる度に会員同志、会員と家族、家族と家族方々に親睦が深まりそれまでには余りなかった御主人と一緒に楽しめる奥様方の喜びはひとしおであった。

炉談会（ファイヤサイドミーティング）は会員、家族の親睦を深めロータリーを語り合うに効果のある重要な会合であるという認識から第1回炉談会を1月23日、大勢の新会員の歓迎をかね、会員の飯白旅館で開催した。

(5) 広報

荘内日報社の佐藤寅之助君、NHKの大竹博君の熱心な理解ある協力で行事その他をよく広報し、地域社会の理解を深めることが出来たが、他面批判もあって之を克服する苦勞が思い出される。

(6) 社会奉仕

① ロータリー傘20本を鶴岡駅に備え付ける

- ② 思恩園老人ホームの慰問
 - ③ 5年間岡山市の未知の孝行少年を励まし続けた余目町太田まり子さんの善行表彰
 - ④ 第1、第2、第3中学校に桜苗木40本寄贈
 - ⑤ 伊勢湾台風被害者に金一封贈呈
- (7) 国際奉仕
- ① 今間会員の海外視察
 - ② 張会員の学界講演と欧米12ヶ国R・C訪問
 - ③ 小花会長のマイアミ国際大会出席と欧米8ヶ国11R・C訪問
 - ④ 松木鶴岡市長の依頼により小花会長米国ニュージャージー州のニューブランズウィック市と姉妹都市盟約を果たし、同時にニューブランズウィック R・C と当クラブとの姉妹盟約を結ぶ
 (ニューブランズウィック市は、当市出身の高木三郎氏が日本最初の留学生として同市ラトガース大学に学び、同地で逝くなり同市日本人墓地に他の日本人10数人と共に埋り同市民に守られている)
- (8) 職業奉仕
 職業奉仕は安齋特別代表にもいろいろ御指導を受け文献等を読み乍らもその何ものかどうすることが職業奉仕かを模索するのに勢一杯の活動であった。
- (9) その他
- ① 例会の時間と出席に対する抵抗
 - ② 大人が会合で毎回大声で唄を歌うことの抵抗
 - ③ 日常使われるロータリー用語に耳なれない英語の多いことの抵抗等々
- 今にして思えば楽しい話題乍ら当時としては真剣な問題として之を乗り切るには随分と苦勞のあったことが懐しく思い出されます。

■出席報告

| | | | | |
|-------|-----|--------|-----|--|
| 本日の出席 | 会員数 | 71名 | 欠席者 | 阿部(公)君、阿部(襄)君、張君、早坂(源)君、市川君、玉城君、風間君、高橋(耕)君、石倉君、小松君、三井(徹)君、森田君、斎藤(得)君、佐藤(昇)君、横山君、内山君、高橋(良)君、富樫君、山口君、藪田君、金沢君 |
| | 出席数 | 50名 | | |
| | 出席率 | 70.42% | | |

| | | | | |
|-------|-------|--------|-------|---|
| 前回の出席 | 前回出席率 | 81.69% | メモアップ | 佐藤(忠)君—酒田R・C 笹原君、藪田君—仙台R・C 中野(清)君、鷲田君、高橋(良)君、諸橋君—鶴岡西R・C 張君、早坂(源)君、三井(徹)君—外国R・C |
| | 修正出席数 | 68名 | | |
| | 確定出席率 | 95.77% | | |

<会報委員会よりお願い>

- 毎回会員各位にお願いしているように、スピーチ等の場合、原稿又は要旨（箇条書きでも可）を提出して頂くと、省力化が計れますので、御協力下さい。
- 各委員会の委員長の皆さん!! 委員会報告用紙がありますので、御利用下さい。
- 原稿、要旨、報告事項はスピーチ等終了後、直ちに会報委員にお渡し下さい。
- 写真は印刷の関係上なるべく白黒でお願いします。